

普及だより

きみつ

〒292-0833 木更津市貝渕 3-13-34 TEL. 0438(23)0299
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/ FAX. 0438(23)6698

発行

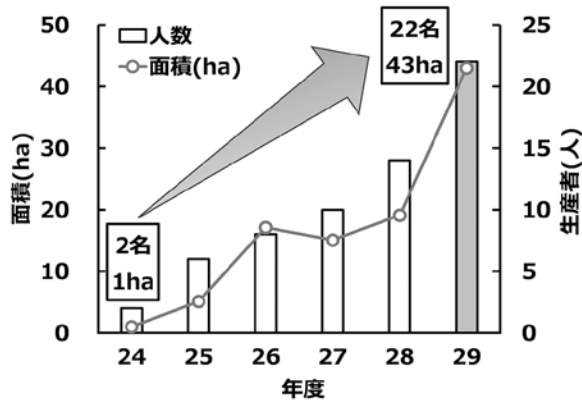
千葉県君津農業事務所
君津地域農業改良普及事業協議会

編集

千葉県君津農業事務所
改良普及課



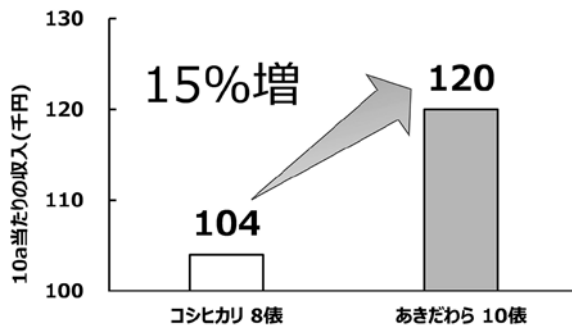
生産者・JA・米卸売業者が一丸となって活動



生産者・作付面積ともに増加しています



研修会で取組方針を検討



※平成29年度におけるJAきみつ1等米の買取価格で計算
(コシヒカリ：13千円/俵、あきだわら：12千円/俵)

「あきだわら」生産で収入増が見込めます

君津地域で広がる新たな米生産 ～JAきみつにおける業務用米の取組～

現在、国内で750万tあまりの米消費量は毎年8万t程度ずつ減少しています。一方で、主食用米消費量の約3割を外食・中食の需要が占めており、今後も堅調な需要が期待されます。

このような外食・中食向けの業務用米としては、収量が多く価格の安い品種が求められます。その中の一つである「あきだわら」は、ファミレスや牛丼店向けに取り扱いがあります。

業務用米生産に取り組む組織としては、平成24年度に発足した「JAきみつあきだわら研究会」がありました。平成28年度に「JAきみつ業務用水稻研究会」に発展改組しました。君津市・富津市・袖ヶ浦市三市の水稻生産者が取り組む業務用米生産は、生産者・作付面積ともに増加しており、平成29年度には22名が約43haの面積を作付しています。業務用米の取組は、水稻生産者には、既存の「コシヒカリ」以上の収入が見込むことができ、収穫時期が遅いため、各品種を組み合わせる規模拡大、作期分散を図ることが可能というメリットがあります。また、米卸売業者としては、年間を通じて量・質ともに安定した米の調達ができます。このように生産者、米卸売業者にメリットのある新たな米の生産・流通の動きが広がっています。

(青木)

水稲のばか苗病を防ごう （対策は育苗時が肝心）

ばか苗病が君津地域でもしばしば発生するようになりました。これまでは防げていたのに、発病し、何故？と思われたことはありませんか？

本病は感染力が極めて強く、種子消毒を基本どおり行わないと完全には防ぎきれないことが分かってきました。一般栽培では、育苗時の対策以外は残念ながら今は防止策がありません。県内のばか苗病の発生を抑え込むためには、種子消毒を中心に、以下のとおりこの春の育苗時の取組が重要です。

【種子消毒時の水温】

消毒液の水温は10～15℃です。極端な低温は効果低下や薬害の危険があります。水温確保のためには①循環式催芽機を使う②凍結防止用ヒーターを使う③ビニールハウス内の水槽周囲を発砲スチロール等で保温し、シルバークリヤ毛布等で遮光する（過度の昇温防止）などの方法があります。これら対策を実施の上、水温を確認してください。

【温湯消毒は効果が不安定】

温湯消毒は粉袋の中心部まで規定温度と時間で実施しなければ効果は大き

く低下します。また、消毒後直ぐに浸種しない場合は、粉水分15%に乾燥させ8℃程度で保管しないと、残存した菌が増殖することがあります。そこで、温湯消毒を行う際には微生物農薬のエコホープDJ、またはタフブロックを併用しましょう。

【種子消毒剤の選定】

採種ほ周辺のほ場では、十分な効果が確認されている次の種子消毒剤の使用を薦めます。ヘルシードTフロアブル、テクリードCフロアブル、モミガードCドライフロアブル

【その他注意ポイント】

消毒薬の量と種籾の量は規定を守り、消毒中に、上下の粉袋を入れ替えるなどして効果を安定させましょう。

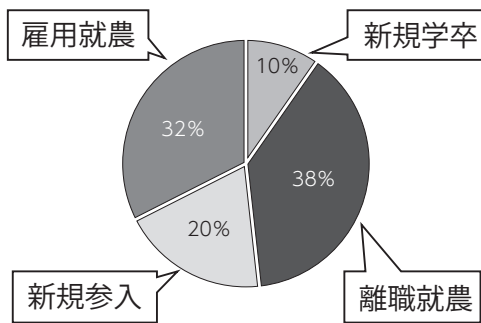
【苗箱で発病していたら】

発病に気づいたらすぐに硬貨大の範囲で抜き取ります。しかし、抜き取っても田植え後1か月経った頃に本田で発病することがあります。これは、育苗の時点では感染しても無症状の苗があるためです。本田での発病株の発見、抜き取りも大切です。近くに採種ほがある方は特段のご配慮をお願いいたします。（椎木）

地域農業を支える 多様な担い手 確保の取組

農業者の高齢化が進行するなかで、君津地域では、年間20～30名程度が新規に就農しています。その構成は、学校卒業直後の就農（新規卒卒者）は僅かで、他業種に従事後、離職し実家の農業に従事（離職就農者）や農業法人等に雇用される形で就農（雇用就農者）が多くなっています。また、農業外から参入（新規参入者）も近年増加傾向にあります（左図参照）。

新規就農者の構成（君津地域）
平成22～28年度平均



特に、新規参入者は、農地を始めとした生産基盤の確保、生産技術の習得、販路開拓を同時に進める必要

があることから、様々な課題を抱えるケースが少なくありません。

また、新規学卒者や離職就農者も技術習得と合わせ、支えとなる仲間づくりなどを通し、力強い経営者に育ってもらうことが重要です。

さらに、地域農業や産地維持のためには、定年退職者に担い手となってもらうことも重要です。

そこで、農業事務所では、各種制度を活用し、各市・JAなどの関係機関と連携し、千葉県農業士・指導農業士の支援を得て、地域農業の担い手確保と育成の取組を行っていますので紹介します。

【農業経営体育成セミナー】

君津地域で新規に就農した青年農業者を対象に実施しています。毎年、年度前半に募集をし、3か年コースで段階的な研修を実施しています。本年度は、21名がセミナー生として、研修に臨んでいます。

研修は、農業生産や経営に関する座学も行いますが、先進経営体の視察を主体として、その場の質問や意見交換を大切にしています。直に目で視ること、視た上で聞くこと、その上で質問や意見交換することが、

セミナー生の技術や経営感覚の習得につながっているようです。



先進経営者から指導を受ける

農業経営を行う上で重要なことは、経営上の課題を計画的に解決し、生産技術の向上や、経営改善を実現することです。当セミナーでは、1年目に自家の経営や技術上の課題抽出を行い、2年目に計画的な解決手法を学ぶプロジェクト活動を行っています。この活動にあたっては、普及職員がセミナー生の在宅担当として、個別に支援する体制をとっています。また、経営者は、経営計画を立て、努力して計画を実現させることが重要であることから、3年目には、経営目標とその実現を図る営農

計画を、在宅担当の普及職員の支援を得て作成します。

さらに、経営を行う上で仲間がいることは、大きな支えとなります。当セミナーの目標の一つは仲間づくりです。青年農業者が、視察研修などで集まることで、仲間づくりにつながっています。また、他の団体や県内の青年農業者との交流会もあり、広く仲間づくりができる場もあります。



指導農業士等との意見交換

【はつらつ農業者講座】

地域農業にとって、定年退職者は重要な担い手となりうることから、定年を機に、地域農業に参画してもらうために、農業生産に必要な技術

研修を計画的に実施しています。

本年度からは富津市天羽地区で、JAきみつ天羽園芸部会やJAきみつの協力のもと、新たな販売に取組む農業者の育成を目的に講座を行っています。



積極的に質問する受講生

【地域農業を知る会】

農業系コースのある上総・青葉高校との連携により、授業の一環として、管内の先進農業経営体の視察を行い、地域農業への関心を高めてもらっています。

これらの取組により、雇用就農を含め若い農業者の増加を期待しています。



先進農家の説明に聞き入る

【関係機関との連携による制度活用】

新規就農者の定着、経営安定のためには技術以外にも農地利用や資金面の支援が必要です。

以下のような事項では、市やJA等の関係機関と連携しています。

- 新規に就農した青年農業者の農地確保のため農地中間管理事業の活用
- 経営目標を設定し、目標実現のための計画づくりとしての青年等就農計画作成（認定新規就農者）
- 経営確立を支援する農業次世代人材投資事業

○就農に際し、必要な資金を確保するための青年等就農資金（三枝）

新しい農業士・指導 農業士認証者紹介

平成29年10月24日に、千葉
市内にて平成29年度千葉県農
業士・指導農業士認証式典が

行われ、管内からは農業士4
名、指導農業士1名の方々が
認証されました。

指導農業士は、農業青年の
模範として、地域の農業後継
者を育てることが求められて
います。

農業士は、地域農業の担い
手のリーダーとして、農業青
年の相談相手となり、共に地
域を盛り上げる役割が期待さ
れます。

今年度の新規認証者を紹介
します。

【指導農業士】

☆齊藤 昇(さいとうのぼる)氏

君津市で、水稲と共に、いん
げんやレタス、にら、きゅうり
などを三世代で栽培していま
す。

【農業士】

☆鳥海晴彦(とりうみはるひこ)氏

君津市で、水稲経営の法人
組織を立ち上げ、食用米や水
稲用種子の生産を行っていま
す。

☆増戸裕幸(ますどひろゆき)氏

袖ヶ浦市で、大規模酪農と
肉用牛の経営をすすめていま
す。稲WCSの利用によるコ
スト低減に熱心です。

☆夢田裕一(ただゆういち)氏

袖ヶ浦市で、水稲と契約の
露地野菜栽培を行っています。
水稲の無コーティング直は栽
培を研究しています。

☆切替宣充(きりかえよしみつ)氏

袖ヶ浦市で酪農を営み、家
畜ふん堆肥の施用による大規
模な飼料作物栽培とコスト低
減を目指しています。

(宮木、田上)



左から鳥海晴彦氏、齊藤 昇氏、増戸裕幸氏、夢田裕一氏、切替宣充氏

農業経営体育成 セミナー生を 募集しています!

就農された40歳程度までの
方々を対象に当セミナーを实
施しており、現在、参加者を
募集しています。

当セミナーでは、農業技術
や農業経営に係る研修や先進
的な経営を行っている農業経
営体を視察することで、实际
の農業生産技術や経営手法、
あるいは販売に係る様々な事
例に触れることができます。

また、同業者の仲間がいる
ことは、大変大きな支えとな
ります。当セミナーは、年代
が近い仲間づくりにもつな
がります。

5月上旬まで募集しますの
で、関心のある方は改良普及
課までご連絡ください。

(三枝)

新起業者チャレンジ セミナー受講生募集!

農産物の加工・販売による
経営の多角化を目指している
君津管内4市の農家を対象に、

“新”起業者チャレンジセミ
ナーを開講します。

研修期間は平成30～31年度
の2年間です。30年度は年間
4回のセミナーを7月から実
施する予定です。加工の基本
技術、経営理念と事業計画の
考え方、製造工程表の作成、
食品衛生と製造許可、食品に
関する表記、オリジナル商品
の開発手法等を学びます。

また、農産物の加工・販売
には様々なリスクが伴います。
そのリスクを回避する知識や
技術を、講義や加工実習を通
じて、幅広く勉強します。



なしの加工実習風景

30年度は10名の受講生を6
月末まで募集します。興味の
ある方は改良普及課までご連
絡ください。(加藤)